

委員会開催概要

回数		検討・確認内容	今後の課題
第4回 H18.3.14 厚不岡上会議所	塩水川流域総合保全推進モデル(仮称)と策定ガイドラインについて	<ul style="list-style-type: none"> ・塩水川流域総合保全推進モデルでは、分かっている希少種などの対策も含めるべき。 ・崩壊地問題は、中長期的視点での課題に入るが、今回はシカによる森林内の土壌侵食を対象として緊急に検討している。 ・要因関連図は再整理する必要がある。 	
	土壌保全新手法開発における平成18年度の試験施工の考え方について	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査の計画書が必要。 ・丸太チップの使用は、特別保護地区でもあるので慎重にすべきである。 ・丹沢全体での対策の必要な区域やその面積等を把握する必要がある。 ・植生保護柵なしでも侵食防止できる工法が今回の最終ターゲットである。 ・緊急対策事業を推進するに際して庁内での連携が必要である。 	